



市内のがんばるものづくり企業を紹介します だいせんものづくり図鑑

no.28

大曲地域内小友地区で衣類製造を行っているのが、株式会社アーテス秋田（南木健利代表取締役社長）です。

同社は1958（昭和33）年に創業した南木メリヤス工業（現・株式会社アーテス）の秋田工場として1974（昭和49）年に現在地で操業を開始。翌1975（昭和50）年に分社化されました。

同社は海外勢との激しい競争に勝ち抜くため、「できないことはない」をモットーに何でも挑戦する姿勢を打ち出し、長年培った高度な縫製技術で顧客の幅広く多様なニーズに応え、高品質な製品を送り出しています。トムブラウンやコムデギャルソン、ハ



高品質製品で海外勢と勝負

株式会社アーテス秋田〔大曲〕

製造品目／衣類（ニット、カットソーなど）

従業員数／63人

※今回の案内人は取締役工場長の三浦忠彦さんです。（掲げているのは同社が製作した「大曲の花火」公式Tシャツ）

リウッドランチマーケットなどの獨創性に富んだ国内外の有名ブランドと取り引きしています。

同社では、社員が4、5人で一つの班をつくり、班ごとに約10台ずつ割り当てられた立ちミシンを駆使し、U字型に配置したテーブルを使って流れ作業で製品を仕上げます。作業場の省スペース化を図るとともに、社員一人一人がさまざまな作業工程に関わることで技術力向上につなげており、特殊な小口注文にも迅速に対応できる体制を整えています。

近年は「大曲の花火」公式Tシャツの製造に携わるなど「花火を生かしたまちづくり」においても存在感を発揮しています。